



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月8日

上場会社名 昭栄薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3537 URL <http://www.shoei-yakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 佐一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 成瀬 幸次 (TEL) 06-6262-2707
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	15,575	2.5	238	△14.6	331	△8.3	221	△10.9
2018年3月期第3四半期	15,196	7.5	279	25.2	361	45.9	248	58.0

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 142百万円(△88.7%) 2018年3月期第3四半期 1,262百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	62.08	—
2018年3月期第3四半期	69.41	—

(注) 当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	16,742	7,739	46.2
2018年3月期	17,099	7,664	44.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 7,739百万円 2018年3月期 7,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	53.00	53.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期につきましては、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,700	2.5	316	△5.3	436	△3.3	299	△4.8	83.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年3月期3Q	3,579,105株	2018年3月期	3,579,105株
2019年3月期3Q	629株	2018年3月期	363株
2019年3月期3Q	3,563,392株	2018年3月期3Q	3,578,975株

(注) 当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(日付の表示方法の変更)

当第3四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然個人消費には力強さは見られないものの、企業収益や雇用環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調で推移することとなりました。しかしながら、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題等、世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの事業とかかわりの深い界面活性剤業界におきましては、生産・販売活動が概ね堅調に推移し、また、当社グループとしても化学品事業におけるオレオケミカルを中心とした既存得意先への拡販・拡充に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は15,575,248千円（前年同四半期比2.5%増）、売上総利益は前年同四半期比0.5%増、販売費及び一般管理費は前年同四半期比4.8%増となり、営業利益は238,455千円（前年同四半期比14.6%減）となりました。また、経常利益は営業外収益107,405千円、営業外費用14,684千円を計上したことにより331,176千円（前年同四半期比8.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は221,223千円（前年同四半期比10.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業損益（営業利益又は営業損失）をベースとしております。また、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用124,186千円（前年同四半期比0.2%増）があります。

① 化学品事業

化学品事業におきましては、国内主要得意先の生産・販売活動が概ね堅調に推移し、既存得意先への輸入商材の拡販や化粧品分野を中心とした新規取引先の開拓等に努めました。ただ、利益面では一部原材料価格（油脂相場価格）の変動や運送費等の高騰化による影響を受けることとなりました。

この結果、化学品事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は13,997,969千円（前年同四半期比2.6%増）、セグメント利益は264,384千円（前年同四半期比15.2%減）となりました。

② 日用品事業

日用品事業におきましては、個人消費が本格的な回復に至っていないものの、新規取引先の開拓や既存得意先への新アイテムの提案、インターネット販売での当社オリジナル商品の拡販等に努めました。

この結果、日用品事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は649,335千円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益は101,396千円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

③ 土木建設資材事業

土木建設資材事業におきましては、当事業の取扱商品とのかかわりの深い地盤改良工事、コンクリート補修補強工事の案件が少なかったことで工事に使用する材料・添加剤等の販売は低調となりました。ただ、環境関連薬剤の販売は比較的規模の大きい環境改善工事への環境関連薬剤を継続して納入することができ順調に推移しました。

この結果、土木建設資材事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は927,944千円（前年同四半期比2.2%増）、セグメント損失は3,138千円（前年同四半期は5,369千円のセグメント損失）となりました。

[2019年3月期 第3四半期 セグメント別連結業績]

(単位：千円、%)

セグメント区分	セグメント別売上高		セグメント損益（営業損益）	
	実績	百分比	実績	利益率
化学品事業	13,997,969	89.8	264,384	1.9
日用品事業	649,335	4.2	101,396	15.6
土木建設資材事業	927,944	6.0	△3,138	—
全社費用	—	—	△124,186	—
セグメント合計	15,575,248	100.0	238,455	1.5

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は16,742,038千円（前連結会計年度末比357,426千円の減少）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が184,104千円、現金及び預金が158,363千円それぞれ減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は9,002,218千円（前連結会計年度末比433,234千円の減少）となりました。主な要因は、長期借入金が450,000千円減少したことによるものです。なお、2018年6月26日開催の第58期定時株主総会の終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止したことにより、前連結会計年度まで計上しておりました役員退職慰労引当金は、当連結会計年度より長期未払金として計上しております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,739,820千円（前連結会計年度末比75,808千円の増加）となりました。主な要因は、保有有価証券の時価変動によりその他有価証券評価差額金が80,768千円減少した一方で、利益剰余金が157,998千円増加したことによるものです。

資本の財源及び資金の流動性に係る情報は、次のとおりであります。

① 主要な資金需要及び財源

当社グループの主要な資金需要は、原材料、販売費及び一般管理費、並びにシステム投資等の投資であります。

また今後、当社グループの収益の源泉として、事業間及び国内外間のシナジーを迫及し売上高の増加を目指してまいります。

② 資金の流動性

突発的な資金需要に対して、迅速かつ確実に資金を調達できるよう、20億円の当座借越枠を取得しており、流動性リスクに備えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月9日「2018年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,065,791	1,907,427
受取手形及び売掛金	6,923,161	6,739,056
商品	408,529	409,708
貯蔵品	378	292
その他	86,006	67,120
貸倒引当金	△3,110	△3,062
流動資産合計	9,480,757	9,120,544
固定資産		
有形固定資産	208,406	198,369
無形固定資産	30,618	25,551
投資その他の資産		
投資有価証券	6,907,398	6,812,338
敷金及び保証金	324,457	327,015
その他	152,732	263,123
貸倒引当金	△4,905	△4,905
投資その他の資産合計	7,379,682	7,397,572
固定資産合計	7,618,707	7,621,494
資産合計	17,099,465	16,742,038

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,754,171	5,794,417
短期借入金	34,925	33,330
1年内返済予定の長期借入金	600,000	650,000
未払法人税等	81,117	24,265
賞与引当金	67,671	35,990
その他	95,450	114,382
流動負債合計	6,633,336	6,652,385
固定負債		
長期借入金	750,000	300,000
退職給付に係る負債	46,443	51,342
役員退職慰労引当金	161,228	—
長期未払金	—	166,139
繰延税金負債	1,814,804	1,801,992
その他	29,639	30,358
固定負債合計	2,802,115	2,349,832
負債合計	9,435,452	9,002,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,169	248,169
資本剰余金	176,361	173,568
利益剰余金	2,864,175	3,022,174
自己株式	△341	△711
株主資本合計	3,288,365	3,443,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,258,260	4,177,492
為替換算調整勘定	117,386	119,128
その他の包括利益累計額合計	4,375,646	4,296,620
純資産合計	7,664,012	7,739,820
負債純資産合計	17,099,465	16,742,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	15,196,652	15,575,248
売上原価	13,944,926	14,317,717
売上総利益	1,251,726	1,257,531
販売費及び一般管理費	972,404	1,019,075
営業利益	279,322	238,455
営業外収益		
受取利息	5,106	5,392
受取配当金	67,310	76,647
不動産賃貸料	11,770	17,614
為替差益	13,566	4,690
その他	2,156	3,059
営業外収益合計	99,911	107,405
営業外費用		
支払利息	10,186	8,257
不動産賃貸原価	7,148	5,925
その他	706	501
営業外費用合計	18,041	14,684
経常利益	361,191	331,176
税金等調整前四半期純利益	361,191	331,176
法人税、住民税及び事業税	104,970	98,243
法人税等調整額	7,813	11,710
法人税等合計	112,783	109,953
四半期純利益	248,407	221,223
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,407	221,223

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	248,407	221,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	997,419	△80,768
為替換算調整勘定	16,536	1,742
その他の包括利益合計	1,013,956	△79,025
四半期包括利益	1,262,364	142,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,262,364	142,197

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年7月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式41,000株の取得を行い、自己株式が141,450千円増加しました。また、同日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、当社の取締役に対して自己株式36,000株の処分を行いました。この処分により、資本剰余金が2,453千円、自己株式が124,133千円それぞれ減少しました。さらに、同日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式として、当社の従業員に対して自己株式5,000株の処分を行い、資本剰余金が340千円、自己株式が17,240千円それぞれ減少しました。

これらの結果等により、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が173,568千円、自己株式が711千円となっております。

なお、当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。上記の株式数については、当該株式分割前の株式数を記載しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資 材事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,645,046	643,914	907,692	15,196,652	—	15,196,652
セグメント間の内部売上高又は振 替高	6,336	—	—	6,336	△6,336	—
計	13,651,382	643,914	907,692	15,202,989	△6,336	15,196,652
セグメント利益又は損失(△)	311,953	96,689	△5,369	403,273	△123,951	279,322

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△123,951千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△123,951千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資 材事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,997,969	649,335	927,944	15,575,248	—	15,575,248
セグメント間の内部売上高又は振 替高	4,742	—	—	4,742	△4,742	—
計	14,002,711	649,335	927,944	15,579,991	△4,742	15,575,248
セグメント利益又は損失(△)	264,384	101,396	△3,138	362,642	△124,186	238,455

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△124,186千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△124,186千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。